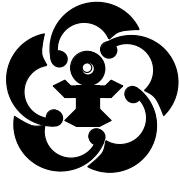


平成30年3月



市子連だより

発行 小田原市子ども会連絡協議会 発行責任者 橋本輝夫

編集担当 広報委員会 委員長 穂坂明範

連絡先: 小田原市子ども青少年部青少年課 子ども会担当 TEL (33) 1723



ふれあい子どもフェスティバル 10月15日(日)

平成29年10月15日(日)小田原アリーナのメインアリーナで市子連行事「ふれあい子どもフェスティバル」が開催されました。当日は小田原市内の子ども会から500人を越える小学生が集まり、ゲームをしながら他校の子どもたちとの交流を楽しんでいました。また展示のコーナーには400人近い子どもたちから図画工作、習字などの出展があり、アリーナのエントランスに展示されました。開会式、準備運動の後、市子連役員指導の基でKYTを行いました。危険箇所や怪我に繋がる危険な行動について子どもたちが積極的に手を挙げて発表してくれて活動中の危険な場所や行動を全員で確認できました。そのあと5人または4人のチームで4種類のゲームを行ないました。

最初はチームのメンバーがそれぞれ手の指の役割をして、チーム全員でグー・チョキ・パーを表す「ジャンボジャンケン」です。勝つと相手からヘアゴムを1つもらうことができます。制限時間内で多くのヘアゴムを集めます。最初のゲームなので、なかなか相手が見つけれないチームもありましたが、ジュニアリーダーを始め、お手伝いいただいた学区の実行委員さんや運営委員さんに助けをもらいながらゲームを進めていました。何回かやると積極的に相手を探してジャンケンをして、勝つと身体一杯で喜んでいる姿が会場のあちこちで見られました。

ジャンボジャンケンの後は、会場を3つのエリアに分けて、「ターゲット4YOU」、「ダンボールビルド」、「すわってフットワーク」(すわってフットワーク)のゲームを同時進行で行ないました。参加者は順番に3つのエリアを移動しながらゲームを楽しみました。

「ターゲット4YOU」はチームのメンバー一人がキャッチャー役になって籠を持って椅子に座ります。他のメンバーがその籠めがけて布球を投げ入れます。キャッチャー役は椅子から離れることが出来ませんので、メンバーは捕りやすいように布球を投げなくてはなりません。一年生も一生懸命投げていました。

「ダンボールビルド」は文字通りダンボール箱を高く積み上げていくゲームです。手が届くまでは簡単に積みあがりますが、そこからが知恵の見せ所です。つつい焦って積み上げたダンボールを崩してしまい観客席からため息が漏れるシーンもありました。制限時間の笛が鳴ったときに高く積みあがっているチームからは歓声が上がりました。

「すわってフットワーク」はゴムホースの輪を足渡ししながらリレーするゲームです。ゴムホースが足に掛かっている人は動けないので、周りの人が移動して列全体を移動していきます。足が思うように動かず輪を隣の人に渡すのに苦労しているチームもありました。

最後は大人チームと勝ち抜きジャンボジャンケンをやりました。どんどん勝ち抜いて行って、最後に勝ち残ったチームには橋本市子連会長から賞品が手渡されました。

エントランスの展示には各学区でそれぞれ飾りつけをされたパネルが並び、フェスティバルの参加者や子ども会役員さんたちが熱心に見学していました。また、エントランスなので、一般の方々も見ていかれる方がいらっしやったようです。

ふれあい子どもフェスティバルはゲームと展示を合わせたと述べ900人の小学生が参加する市子連最大の行事です。各学区から選出された実行委員さんと当日お手伝いいただける運営委員さん、そしてジュニアリーダーズクラブの協力がないと運営できません。今年も沢山の方にお手伝い頂き、無事終了することができました。子ども会の役員の方からは、「毎年参加している。とても楽しみ」とか、「今年初めて参加させました。子どもがとても楽しかったと言っていました。」などうれしいコメントを頂いています。学区役員の方にはお手伝いいただくことで時間的なご負担をおかけしておりますが、子どもたちが楽しみにしている行事ですので、市子連といたしましては今後も続けて行きたいと考えております。これからもご協力いただけますようお願い申し上げます。



ふれあい子どもフェスティバルの様子（続き）



インリーダー研修会 1/20（土）

平成29年度インリーダー研修会は、1月20日（土）、小田原市役所で71名が参加して行われました。小学5年生の子ども会会員を対象に、研修を通じてリーダーとしての自覚と責任感を身につけることにより、地域での活発な子ども会活動が展開されることを目的にこの研修を企画しました。

当日は、ゲームを楽しみながら参加者の気持ちをやわらげ、親しくなる「アイスブレイキング」から始まりました。

子ども会活動における危険予知を学ぶ「KYT（危険予知）研修」では、イラストを見ながら危険だと思うところを見つけ、どうすれば安全か各班で話し合いました。

今年度の市子連行事を動画で振り返る「市子連行事紹介」の後、「6年生になる心構え」で6年生の役割と心得を学び、各班に別れて「市役所内見学」に出発しました。

市役所内見学では、市議会議場、消防署、2階ロビー展示を見学しました。

普段入れない市議会議場では、参加者は議席に座り、市議会事務局職員から説明をうけたあと、議席にある議員が使うマイクで質問をする体験をしました。

正面の一番高い議長席にも立ち寄り、ちょっと偉くなった気分になったのではないのでしょうか。

消防署は市役所内にある荻窪出張所を見学し、消防署職員から説明を受けました。

皇居を守る消防車は赤色（朱色）ではなく白色であること。

消防署によって地域の特性があり、その消防署にあった消防車を作るため、全国で同じ消防車はなく、参加者の見ている消防車は世界で一つの消防車であること。

この2点が印象に残っているようでした。

2階ロビー展示では、展示してある小田原市の名産品などを学びました。

最後に、「グループワーク」を班別の実習しました。カードの情報を元に、話し合っ正しい席を完成させる『ボクの座席はどこ？』という課題に挑戦しました。

人の話を良く聞いたりタイミング良く話したりすることの大切さ、様々な情報を集め、まとめる方法を体験できたのではないのでしょうか。

この研修を生かし、4月から子ども会でも学校でもリーダーになって欲しいと願っています

インリーダー研修の様子



子ども会育成者・指導者研修会（後期）

2月18日、小田原市役所において、後期子ども会育成者・指導者研修会が開催されました。

この行事は毎年、子ども会の育成者や指導者の皆さんを対象に、知識・技術の習得や情報交換などを目的として行われています。

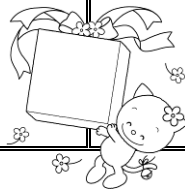
当日は各学区・単位の代表の方105名が集まり、ビデオで今年一年間の市子連の行事をおさらいした後、それぞれの学区の代表が学区や単位で行われている行事について発表しました。ふだんはほかの子ども会がどんなことをやっているかという情報はなかなか伝わらないので、参加者の皆さんも発表の内容に興味しんしん、驚いたり、感心したり。最近では会員数の減少に伴い活動の継続が困難になり、休会や廃止に追いやられる単位が増えてきている中、何とか子ども会活動を継承していこうという取り組みの発表もいくつかありました。難しい状況の中でも何とか現状を打破しようという、その努力の姿勢には頭が下がる思いです。そのあとの分科会でも行事についての質問や意見、要望、さらにはふだん子ども会活動で困っていることなど、活動全般についても活発な意見交換をしました。

参加者の皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の市子連の行事を運営する上で参考にさせていただくとともに、皆さんも他の学区や単位から得た情報を、それぞれの活動にぜひ生かしてほしいと思います。



平成29年度表彰 おめでとうございます

個人（敬称略）	団体
神奈川県青少年育成功労者表彰（県知事表彰） 佐藤和久（市子連）	小田原市青少年問題協議会会長表彰（市長表彰） ・優良青少年団体
神奈川県青少年育成推進者表彰（県知事表彰） 富樫栄広（市子連）	大道子ども会（下府中学区） 根府川子ども会（片浦学区）
小田原市青少年問題協議会会長表彰（市長表彰） ・青少年育成功労者 石井園子（市子連）	



平成30年度事業計画(案)

年月日	事業名	会場
平成30年 4月7日（土） 5月3日（木・祝） 5月20日（日） 7月8日（日）	平成30年度定期総会 小田原北條五代祭り 前期子ども会育成者・指導者研修会 青少年交流事業・チャレンジアンドトライ	小田原市民会館小ホール 小田原城周辺 小田原アリーナ（サブアリーナ） 小田原アリーナ（サブアリーナ）
平成31年 11月23日（金・祝） 1月26日（土） 2月17日（日）	ふれあい子どもフェスティバル インリーダー研修会 後期子ども会育成者・指導者研修会	小田原アリーナ（メイン） 市役所大会議室 市役所大会議室
※特別事業 平成30年 5月20日（日） 8月11日（土・祝） 11月17日（土）・18日（日）	安全教育推進事業 映画鑑賞会 おだわらツーデーマーチ	小田原アリーナ（サブアリーナ） 小田原市民会館大ホール （協賛事業）
※安全共済会 平成30年 4月7日（土） 平成31年 2月16日（土）	新役員対象説明会 提出書類説明会	小田原市民会館小ホール 生涯学習センターけやきホール
※広報発行 ※随時	年2回（9月・3月） 役員会・学区会長会・実行委員会	

子ども会に入いませんか

子ども会は、子どもたちの健全育成のための組織です。小田原市内の小学生の子ども会への加入率は5割弱です。より多くの子どもたちに参加してもらうため、右のようなチラシを作成し、子ども会の回覧板などでお知らせしています。ご近所にまだ子ども会に入っていないお子さんがいたら、ぜひ、加入を呼びかけていただきたいと思います。

また、大人の皆さまも、子ども会の意義や役割をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

「入ってよかった！子ども会」「やってよかった！子ども会」と言っていただけよう、頑張っていきたいものだと思っています。

小田原市子ども会連絡協議会
小田原市こども青少年問題協議会青少年課子ども会担当
TEL 0462-95-1729

子ども会に入いませんか

一人ではできない事も皆で力を合わせれば...
思いがけない楽しい体験ができる。

**小田原市内にいくつもの子ども会があります
皆さんの入会を待っています！**

（子ども会は...）
近所の子ども連と遊みながら活動する。皆で考え、楽しく遊ぶ。
年齢の違う人と遊べる。友達がたくさんできる。
ご近所や地域の人たちと交流ができる。地域の行事に参加できる。
学校とはちょっと違う遊びができる。

子ども会は子ども連が地域の中でさまざまな人たちに囲まれ、
見守られ成長していくために大きな役割を果たしています。
子ども会についてのお問い合わせ、入会ご希望の方はお気軽にご連絡ください。